

国立大学法人総合研究大学院大学経営協議会（第26回）議事要旨

平成24年6月19日（火）

15時00分～17時08分

ホテルフロラシオン青山「クレール」

（審議事項）

(1)平成23事業年度に係る業務実績報告書について

赤塚委員より、資料2-1及び資料2-2に基づき、平成23年度業務実績の主要な点について説明がされた。

①教育研究等の質の向上の状況

教育研究委員会の設置、新たな教育課程（特別教育プログラム）の設置検討、学融合推進センターの強化、デュアル・ディグリー・プログラムの協定締結、総研大フォーラムの実施等

②学生支援のための取組

授業料免除制度の改定実施等

③組織運営の改善及び効率化

研究科実質化のための研究科長裁量の経費を配分等

④財務内容の改善

iPadを活用した会議の運営等

⑤自己点検・評価及び情報提供

総研大フォーラムの実施等

⑥その他業務運営に関する重要目標

安全衛生に関する職員セミナーの開催、東日本大震災における本学の対応等
高畑学長より、授業料免除の拡充、横高アカデミアの実施等について、補足説明があった。
審議の結果、原案のとおり承認された。

(2)職員の給与の臨時削減について

高畑学長より、資料3-1及び3-2に基づき、役職員給与の臨時削減及び過半数代表との労使間協議の状況等についての説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

(3)平成23年度決算について

池内委員より、資料4-1及び資料4-2に基づき、平成23事業年度決算の「貸借対照表」「損益計算書」の主な増減、財務分析による教育経費比率、研究経費比率、外部資金比率、一般管理費、電力量、収入・支出決算、外部資金等について説明がされた。また、独立監査人の監査報告書について監査法人から特に問題がない旨の報告を受けていることの説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

(4)平成25年度概算要求について

池内理事より、資料5-1～5-4に基づき、平成25年度概算要求について、特別経費の要求を中心に説明がされた。

①新規要求としては、「人文研究者の養成機能強化」を目標に研究力の高い研究者を養成するものである。

②継続分のプロジェクトのうち「科学知」と「国際的視野」は葉山本部の全学事業として実施しているものであり、他は「脳科学研究」「統合生命科学」「物理科学研究者の育成」で、基盤機関を足場とした各研究科横断型である。

③基盤的設備等整備分としては、日本歴史研究専攻（国立歴史民俗博物館）から、昨年度に続き要

求されているものである。また、先導科学研究科より生理学的実験に必要な不可欠な設備を要求するものである。

④財務・経営センター施設費交付事業（営繕費）は、毎年度 11,000 千円交付されているが、平成 25 年度要求内容としては、耐用年数を過ぎている葉山本部の冷温水機 2 号機の改修費を要求するものである。

さらに、塚本文化科学研究科長から、新規要求である「人文研究者の養成機能強化」の概要について、簡単に説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

（報告事項）

(1)平成 23 年度における資金運用について

池内委員より、資料 6 に基づき、平成 23 年度資金運用の実績についての報告があった。

（自由討議）

(1)大学共同利用機関と総合研究大学院大学について

(2)総合研究大学院大学における今後の取組みについて

高畑学長より資料に基づき、以下の説明があり、活発な意見交換があった。

- ・大学共同利用機関と総研大-生まれと課題と期待-
- ・大学共同利用機関と総合研究大学院大学との連携の在り方に関する研究会
- ・総研大学内における今後の取組
- ・総研大と大学学部との連携（大学院・学部クロス連携）について
- ・大学共同利用機関制度の成立